

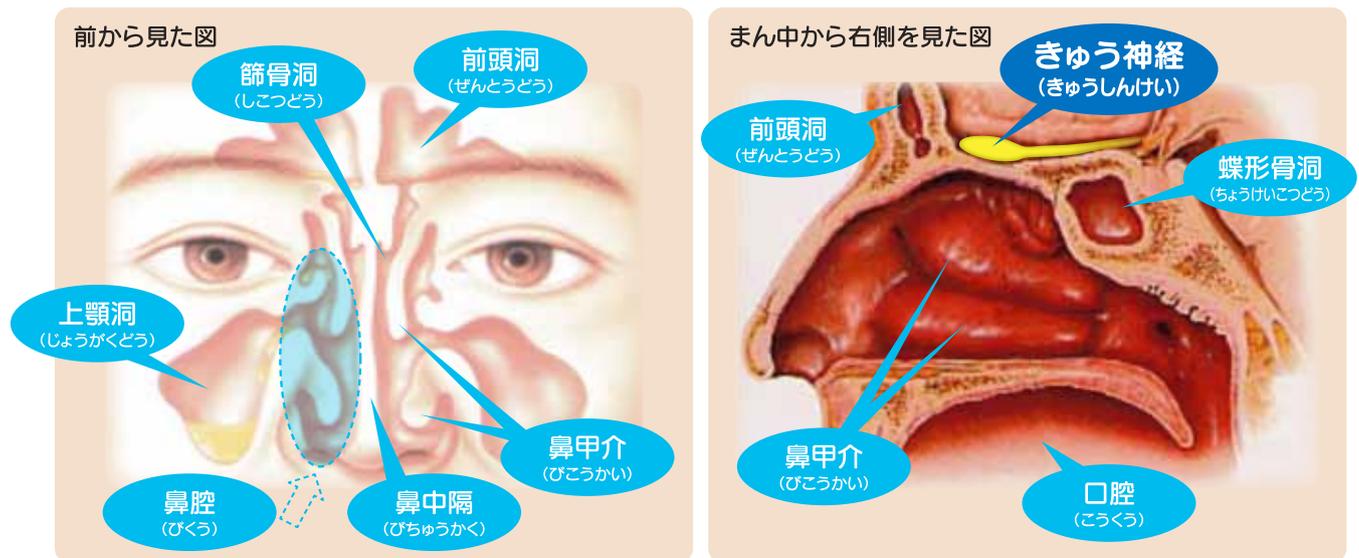


スマイル通信

第3回目のスマイル通信です。今回は『鼻の働きについて』です。

皆さん、8月7日は何の日かご存知でしょうか？その語呂の通り、8(は)7(な)、鼻の日です。日本耳鼻咽喉科学会では、昭和36年以来、毎年8月7日を「鼻の日」と制定して、鼻の病気に対する啓発を行っています。今回は、私が、2011年8月1日に長崎新聞健康欄に投稿した内容、鼻の働きについて、の一部を紹介します。(ドラえもんにてでくるのび太の誕生日も、8月7日です。年齢は不詳ですが、。)

皆さんは鼻の仕組みをご存知ですか？鼻は、一つの単純な空間ではなく、複雑な形をした鼻腔(びくう)と副鼻腔(ふくびくう)にわかれています。副鼻腔はさらに4つの空間にわかれています(図)。



鼻炎(びえん)というときは、鼻腔の炎症で、副鼻腔炎(ふくびくうえん)、蓄膿(ちくのう)症というときは、副鼻腔の炎症です。

鼻の働きは主に、①においを感じる働き(きゅう覚)、②空気を加温加湿し、肺から酸素を取り込みやすくする働き(呼吸)、③空気中の塵や病原体をくしゃみ、鼻みず、鼻つまりで体内に入れない様にする働き(防御)、などがあります。

鼻の奥には“におい”を感じるためのきゅう神経という神経があります(上図右)。ここに、においの粒子が届くと、きゅう神経を通して脳に伝えられ、においを感じます。私たち人間は、他の動物に比べてきゅう覚は弱いのですが、においを感じる受け皿(受容体)は、数百種以上といわれています。食物のにおいを感じ、食欲を向上させるためには、きゅう覚は必要です。

私たちは味を口の中で感じていますが、他に、においの情報が脳にはいって、食べ物の味を際立たせています(風味)。

かぜなどで食べ物がおいしくない時は、味の検査だけでなく、鼻に異常がないかも調べる必要があります。

また、食物の腐敗、焦げたにおい、プロパンガスのにおいなど、身の周りの危険を感じるには、きゅう覚はなくてはなりません。

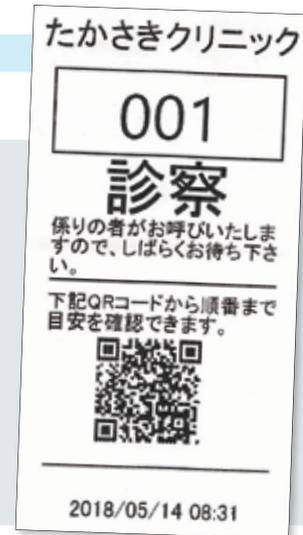
さらに、近年、認知症の一部では、物忘れなどの症状が出る前段階で、きゅう覚の機能が衰える傾向があることが指摘されています。きゅう覚は、私たちの生活の質だけでなく、近年問題の認知症にも深く関与しています。

今回は、鼻の働きで、主に“におい”について書きました。他の呼吸や防御などの働きについては、またスマイル通信で紹介させていただきます。

鼻に関して何か変な感じがしたら気軽に相談してください。

番号札に関するお知らせ

- 1) 当クリニックでは、患者さん本人確認のため、お名前と、受付でお渡しする番号札(図)の数字でお呼びしています。ご都合が悪い方は、受付に申し付けください。
- 2) 番号札は、診察終了後の会計順にも使用します。診察終了後、必ず受付に番号札をお返しく下さい。返却後の会計となりますので、お返しいただかないと会計ができない場合があります。以上、よろしくお願ひします。



当院指定の駐車場に関してのお願い

当院指定駐車場は、当院横2台、吉田駐車場2-7、20、21番の8台、市営駐車場1、2、4、5番の4台、合計14台です。このほかの駐車スペースには駐車しないように、ご協力お願いします。

● アクセス



● 駐車場マップ



診療時間	月	火	水	木	金	土
午前9:00～午後12:30 受付は午後12:15まで	☺	☺	☺	☺	☺	☺
午後2:30～午後6:00 受付は午後5:45まで	☺	☺	☺	☺	☺	☺

《日曜・祝日 休診》

〒857-0136 長崎県佐世保市田原町17-10

TEL.0956-76-7379 FAX.0956-76-7363

たかさきクリニック  <http://takasaki-clinic.org> HPはこちら→



当日の順番予約と
診察待合状況の
確認はこちらから→

